



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」（以下、「推進員」）さん。現在、市内全小中学校に1〜2名が配置されています。その推進員さんに聞きました。



長谷川 恭子さん

1. 配置校はどこですか？
筑紫東小学校です。

2. 推進員になったきっかけは？
創立当初からPTAなどで関わっているため、筑紫東小学校の子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるならばと思い、引き受けました。

3. 主にどんな活動（具体的に）をしていますか？

「読み聞かせ」、「丸つけ」ボランティア、1学年「昔あそび」、2学年



読み聞かせをしている風景

「野菜づくり」、6学年「国語科・読み聞かせの感想インタビュー」、「モルック大会」、「防災センター見学」の支援。さらに定期的に学校と地域間の文書を届け、相互の連絡調整および情報の交換。

4. 活動してみてもうれしかったことは？

子どもたちが笑顔で生き生きと学習活動している姿を見て、地域の方も先生方も、楽しく活動に参加していただいていること。

5. 活動してみてもわかったことは？
「コロナ禍により希薄になっていた「ふれあい」が取り戻され、子どもたちの心が豊かに育まれつつあること。

6. 将来、やってみたい活動は？

どの子も「学校って楽しい」と思えるような居場所づくりや活動。

7. 地域・学校の様子・声

地域の皆さんは、子どもたちのためならと気持ちよく動いてくださる方が多く、先生方も、そんな地域の皆さんと楽しく活動できるよう動いてくださっています。今後は、それぞれの活動を一本化していくことを要望されています。

